

あなたと議会



2014
184号
11月25日発行

議会閉会中の継続調査結果がまとまりました。

市政を問う
議会からあなたへ



特集 議会閉会中の継続調査結果がまとまりました。

常任委員会の活動の

成果ををご紹介します。



昨年12月に議会閉会中の継続調査付託を議決し、調査テーマにそって、現地調査、意見聴取、討議を重ねてきました。
 このほど4つの常任委員会が取り組んできた調査結果がまとまり、その成果を議長に報告しました。
 また、市への提言として9月29日の本会議において、各常任委員長が報告をしました。

常任委員会名	調査研究テーマ
総務	都市交流の推進について(足立区、墨田区、台東区との都市交流について)
環境経済	堆肥化センターの利用促進について
文教民生	医療費の削減について
建設水道	水害防止を目指して取り組む道路、河川の対策等について(水害を受けた市街地等の現状、課題と対策について)

総務常任委員会

○都市交流の推進について(足立区、墨田区、台東区との都市交流について)

担当部局との意見交換、足立区への行政視察を実施し、都市交流の重要性を提言にまとめました。

- ①民間交流の促進 参加型のイベントを企画する等の仕掛けづくりを工夫すべきである。
- ②子どもの交流促進 成長過程で異文化、環境に触れることの重要性に鑑み、子どもたちの心に残る交流を継続して行うこと。
- ③足立区野外レクリエーションセンター跡地利用の促進 地元住民の利益となり、都市間交流の拠点となりうる利用を足立区に要望すること。
- ④防災協定 足立区、墨田区、鹿沼市の自治体の防災担当職員が連携、協力し計画づくりに着手すべきである。
- ⑤職員交流 担当職員の交流を積極的に進めるべきである。

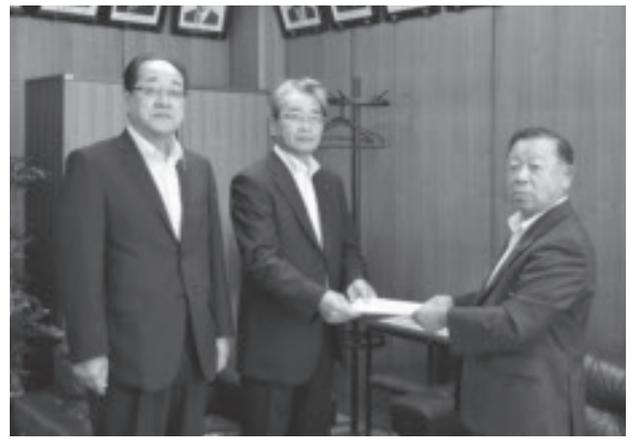


環境経済常任委員会

○堆肥化センターの利用促進について

施設の深刻な劣化を目の当たりにし、「施設の改善」を検討しました。現地調査、視察、意見交換会等を実施し課題を洗い出しました。センターが本来の機能を取り戻し、設立当初の理念に近づくことができるよう以下の提言をします。

- ①「センターの存続」を堅持することを念頭に早急に施設の改修、改革を進めること。
- ②先進・成功事例調査、技術提案の検討を行うこと。
- ③改修費用、運営コストを抑え、市民から理解が得られるような経営を行うこと。
- ④一時受入中止中も現利用者が安心して経営を続けられるよう支援を行なうこと。



建設水道常任委員会

○水害防止を目指して取り組む道路、河川の対策等について (水害を受けた市街地等の現状、課題と対策について)

鹿沼市でも近年河川の急激な増水による、道路、住宅の浸水等甚大な被害が発生しています。住民が安心して生活できるよう、諸施策を積極的に行うことを要望します。

- ①行政と住民との協働による水害防止対策 雨水が流出する高台等に雨水タンク導入を促進すること。
- ②行政各所管の連携による水害防止 検討組織を設置し、課題解消に連携しながら取り組むこと。
- ③公共施設に貯水施設としての機能を持たせる 地下貯水槽等を造り、市街地の雨水防火水槽として多面的な機能を持たせること。



文教民生常任委員会

○医療費の削減について

わが国において医療費の増加は国民の大きな関心事で、鹿沼市の国民健康保険事業も例外ではありません。担当部局との学習会、鹿沼薬剤師会、鹿沼歯科医師会との意見交換会を実施し、市の医療をめぐる現状を調査しました。

- ①健康診査の受診を心がける 病気の早期発見、早期治療が医療費の削減（抑制）につながる。
- ②ジェネリック医薬品（後発医薬品）の利用を心がける 患者個人の医療費負担を軽くすることができ、市全体の医療費削減にも大きく貢献することが期待される。
- ③医療機関の適正な受診を心がける 診療時間外の受診、重複受診は避ける。



これからも「開かれた議会、活動する議会」をめざして活発な常任委員会活動を進めます。

9月29日9月議会最終日に新しい常任委員会委員を選任（15ページをご覧ください）し、議会開会中の継続調査付託を議決しました。以下が各常任委員会の新しいテーマです。これから概ね1年間調査研究を進めます。

常任委員会名	主な調査研究テーマ
総務	人口対策について
環境経済	公設市場について
文教民生	医療費の実態について
建設水道	社会資本の老朽化対策について (社会資本の維持管理・更新・インフラ長寿命化計画)



公設市場の経営改善をどう進めるのか？

老朽化する公共インフラをどうマネジメントするのか？



人口問題について伺う



市政を問う

9月定例会で13人が登壇
鹿沼市政について質問をしました



質問

人口が減少するのは避けられない事実と考えるが、人口減少社会への対応を伺う。

答 井(市長)

多くの皆さんの声を聞きながら対策をまとめます。

本市では、今年4月に人口が10万人を割り込み、市総合計画の推計より早いペースで人口減少が進んでいます。総合計画の見込みとの差が生じていることから、人口フレームの見直しも検討していきたいと考えています。今後は、既の実施している事業を着実に進め、新たな事業も、できることから速やかに実

施していきたいと考えます。

定住促進や子育て支援などに取り組みながら、本市の住み良さを最大限にPRすることで減少率を抑え、一定の人口を保つ必要があると考えます。また、

国や栃木県の対策の積極的な導入、近隣市町との連携による企業誘致等広域的な取り組みも進めていきます。一方、人口が増えなくては成長しない、豊かにならないというマイナス思考を変えていくことも必要と考えます。外国人を含む多くの交流人口の受け入れ、地域経済の新たな循環につなげることに真剣に取り組んでいきたいと考えます。

鹿沼市の人口の推移
(各年10月1日現在の推計人口)

年次	人口(人)	世帯数(世帯)
昭和55年	95,999	24,436
平成元年	100,650	27,216
平成5年	103,257	29,589
平成10年	104,528	31,842
平成15年	104,246	33,228
平成20年	103,278	35,018
平成25年	100,369	35,610
平成26年	99,486	35,869



推計人口…国勢調査を基礎として、毎月の出生・死亡・転入・転出を加減して算出された推計値をもとにした人口数



再生可能エネルギーの活用について伺う



質 問
 市有施設の土地貸しによる太陽光発電事業について伺う。

答 弁（環境部長）
鹿沼フェニックス地内を選定しました。

対象施設は磯町の一般廃棄物最終処分場、鹿沼フェニックス内南側の土地で面積は約6千平方メートル、発電能力は400キロワット程度を見込んでいます。

本市では昨年度屋根貸し事業を実施し、養護老人ホーム千寿荘の屋根に495キロワットの発電設備を設置しました。今年度はより規模の大きい太陽光発電施設の導入を目指すため、一定規



▲千寿荘の屋根に設置された発電設備

新庁舎整備基本構想について伺う



質 問
 新庁舎整備の延期は、誰がいつどのような状況を判断して決定するのか伺う。

答 弁（市長）
今後の推移を見極めつつ判断をしていきます。

新庁舎の整備は、本市にとって大変重要な事業であり、その指針となるものが基本構想です。地区説明会等の意見を踏まえて8月1日に政策会議を兼ねた本部会議を開催し、最終的な基本構想を決定したところです。

整備スケジュールは、平成32年度を完了目標としていますが、震災復興事業や2020年度東

京オリンピック、パラリンピックによる建設需要の高まりにより、労務費や建設資機材等が高騰し、建設工事費が急上昇しておりますので、このような状況下で契約、着工することが適切なのかどうか見極めて判断して参りたいと考えています。延期決定の時期は、基本計画策定後、基本設計に入る前に判断しますが、本部会議や庁議を経て、市議会に説明し、理解を得ながら最終的には行政の長として私が判断したいと考えています。整備スケジュールの延期や規模の縮小についても必要性を見極めながら柔軟に検討します。



▲現市庁舎本館1階

大貫 毅 議員

公共施設等総合管理計画について伺う



質 問

計画策定の目的、作業体制、スケジュールの詳細を伺う。

答 弁(市長) 将来を見据えながら策定します。

本計画は、鹿沼市が管理する全ての公共施設を対象に、施設の効果的・効率的な配置、長寿命化、維持管理費の削減、管理や費用に関するデータの一元管理を目的に策定するものです。「行政改革推進本部」が方針決定を行う策定母体となり、ワーキンググループを開催し具体的な調査検討を進めます。今年6月から策定に着手し、

施設の現状や維持管理費等について調査を進めています。平成27年度半ばまでに基本方針等をまとめ、年度末までには案を示してパブリックコメントを行い、計画を決定します。計画期間は平成28年度から約20年とする予定です。人口減少社会を迎え、学校の統廃合等を含めた公共施設のあり方や維持管理費の確保は今後ますます大きな課題となるものであり、また新庁舎建設にも関連するものです。本市にとって重要な計画となりますので、現状を詳細に分析するとともに、将来をよく見据えながら策定したいと考えます。



市が管理するすべての公共施設が対象です。

鈴木 敏雄 議員

福祉行政について伺う



質 問

障害者向け福祉サービス等利用計画の進捗状況を示せ。

答 弁(保健福祉部長) 連携して計画作成を進めていきます。

7月末現在でサービスを利用している障がい者は74人おり、サービス等利用計画の作成件数は193件で進捗率は26パーセントとなっております。

昨年12月には市内2カ所の相談支援事業所、4人の相談支援専門員で計画の策定していましたが、現在は5カ所の相談支援事業所、8人の相談支援専門員で作成を進めています。「鹿沼

市地域自立支援協議会」において、計画作成について協議し、進捗状況や現状を説明して、情報の共有を図るとともに、連携して作成を進めていきます。また、相談支援事業所で作成するほか、利用者本人が家族や施設等の支援委員の協力を得ながら作成するセルフプランもあります。一部のセルフプランもありません。セルフプランの作成を依頼しており、相談支援事業所及びサービス事業所と連携してセルフプランの作成も検討しながら来年4月には利用者全員が計画をもとにサービスを受けられるよう事業を推進していきます。

「セルフプラン」とは

サービス等利用計画・障害児支援利用計画と同様、利用者等の希望する生活・サービスなどを記載し、サービス利用者を支援するための計画です。利用者本人や家族などが作成しますが、容易に記載できる様式となっております。

また、相談支援事業者が作成する計画とは異なり、サービス等利用計画(本計画)の作成や支給決定後のモニタリングの実施は必要ありません。



小林 充 議員

子どもの貧困対策について
伺う



質 問
貧困状況におかれている子どもの学習支援の実態と対策を教えてください。

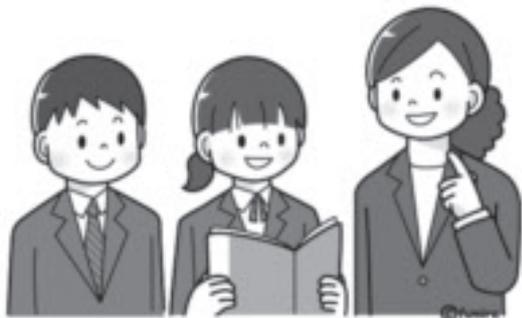
答 弁 (保健福祉部長) —
きめ細やかな学習支援を行なっています。

鹿沼市では、困窮状況に置かれている子どもについての経済的な支援として、生活保護の教育扶助や就学援助制度で対応し、給食費や学用品、通学用品等の教育費負担の軽減を図るための支援を行なっています。

学校教育では、貧困対策として特別な取り組みは行っていませんが、授業では習熟度別学習

や、複数の教師による少人数指導を実施するなどして、児童生徒に対し、きめ細やかな授業を行なっています。

平成27年度から施行される生活困窮者自立支援法は、生活保護に至る手前の段階の自立支援を強化するため、生活困窮者に対して支援を行なうことを目的としています。現在、本市における事業実施主体、実施可能な事業など、様々な視点で検討をしています。子どもの学習支援事業を含め、円滑な実施を図るため、全庁的な組織体制により、関係機関等とも連携を取りながら取り組んでいきます。



増 淵 靖弘 議員

経済ビジョンについて伺う



質 問
鹿沼市の産業別の総出荷額、今後の伸び率や目標額、これからの戦略を示せ。

答 弁 (経済部長) —
業界、企業を応援してまいります。

本市の産業は、高度経済成長以降、農業公社や花木センター等、農業の新たな拠点整備とともに、木工団地、工業団地、流通業務団地などの新たな産業基盤の整備により、工業が発展し現在は農林商工のバランスがとれた産業構造といえます。

本市の多様な地域資源を活用し、首都圏をターゲットとした

食料や住宅資材の供給基地としての地位を高めていくこと、世界に通用する高度な技術力や農産物など「鹿沼のチカラ」を強く栃木県内外にアピールし、販路を拡大すること、満足度の向上による再来訪の促進を図ることなどが重要になると考えます。

農業、工業、林業、観光各部門の目標額は、総合計画に掲げているもの以外、特に設定はしていません。目標値はそれぞれの業界や個々の企業が設定するものとし、市としてはそれを応援する立場にあると考えます。

過去5年間の総出荷額

産業	H21	H22	H23	H24	H25
農業	37億7,900万円	37億5,400万円	37億9,400万円	38億3,300万円	35億3,600万円
工業	3,513億4,247万円	3,811億3,698万円	3,303億3,597万円	3,303億6,791万円	
林業		4億9,400万円		5億5,350万円	

※農業は主要農産物であるイチゴ、ニラ、トマトの販売額です。
※工業は平成24年度が最新のデータです。
※林業は、原木の出荷額で隔年で調査を実施しています。

小島 実 議員

大規模災害の発生予防について伺う



質 問

災害から身を守るため、状況を正しく判断することが重要と考えるが、自然災害の予防、啓発について伺う。

答 弁（総務部長）
新しい防災マップを作成します。

平成26年度、現在の防災マップを見直して新たに作成し、全戸配布する予定です。作成にあわせ地区別のハザードマップを含む防災マップの作成を検討したいと考えています。鹿沼市では「かぬままちづくり出前講座」のメニューの一つに「防災対策について」があり、各地区の自主防災会等

が主催する講習や学習会で、講座を実施してきました。更にPRに努め、研修や訓練の開催を促したいと考えます。

土砂災害の危険箇所は、土砂災害防止法に基づき栃木県が調査し、指定します。地域内のきめ細やかな危険箇所は、防災マップ等をもとに自治会で避難経路や危険箇所を書き込み地域版のマップを作成して近隣住民の皆さんが共有することが有効です。市、栃木県、警察等の関係機関が毎年地区を指定し、土砂災害警戒区域等の点検パトロールを実施しており、今年度は6月に西大芦地区で実施しました。

「ハザードマップ」とは

ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したものです。予測される災害の発生地点、被害の拡大範囲および被害程度、さらには避難経路、避難場所などの情報が既存の地図上に図示されています。

ハザードマップを利用することにより、災害発生時に住民等が迅速・的確に避難を行うことができ、また二次災害発生予想箇所を避けることができるので、災害による被害の低減に非常に有効です。



荒井 正行 議員

学校給食における食物アレルギー対策について伺う



質 問

食物アレルギー対応食の提供、学校の対応について伺う。

答 弁（教育次長）
11月から対応食を提供します。

平成26年度夏季休業中、鹿沼市学校給食共同調理場に食物アレルギーに対応した除去食や代替食等の対応食をつくるためのコーナーを整備しました。鹿沼市学校給食共同調理場は、大量調理施設なので、安全面を考慮し、学校との協議の上、卵、乳及び乳製品のアレルゲン対応食を提供することから始めます。保護者との面談を実施し、同意

を得た上で11月から対応食を提供する予定です。

教職員研修会については、事故防止の観点から、平成26年4月に作成した「学校給食における食物アレルギーへの対応の手引き」を活用し、学校長、養護教諭、給食主任を対象に研修会を実施し、今年度は栃木県教育委員会主催で学級担任を対象にした研修も開催されました。更にエビペンを所持する児童生徒のいる学校では児童生徒の主治医を招き、学校内においてエビペンの使用方法や緊急時の対応について、より具体的な研修も行っています。



▲共同調理場にアレルギー対応食を作るコーナーを整備しました。

谷中 恵子 議員

図書館運営について伺う



質 問
「小さな図書館」の運営方法、まちづくりへの期待度、目標を伺う。

答 弁（教育次長）
読書の盛んなまちを目指します。

この事業は市内に店舗を構える事業者やNPO法人「かぬま市民活動サポーターズ」等と図書館が連携を図り、事業を展開していきたくと考えています。図書館の役割として、参加店に本の団体貸出やリクエスト本、レファレンス等の対応をします。店内にお薦めの本やお気に入り本を置いて、お客様にくつろ

ぎの読書空間を提供していただくことにより若い人たちの読書に親しむ機会を増やし、また本を通じた市民交流の場として、新たなまちづくりにつながると期待しています。

現在参加店を募っていますが、参加する店の支援を行なうことで図書館の利用促進と市民の読書啓発を図っていきたくと考えています。今後は、鹿沼図書館ボランティアKLVがこれまで実施してきた街角ライブラリーと連携を図りながら、多方面からの読書活動の環境づくりを向上させ読書の盛んなまちを目指して推進していきます。

「小さな図書館」とは

店内に店主のおすすめの本やお気に入りの本を置いて「くつろぎの読書空間」を提供するものです。読書離れが進む若い人々たちをターゲットに、お店で自由に飲食しながら本に親しんでもらうことで、心に残る本との出会いや、ボランティア等のイベントを通じた新たな市民交流が期待されます。

- 加盟店一覧
- 鹿沼市役所1階 夢未来
 - Cafe 饗茶庵本店
 - 日光珈琲 朱雀
 - 鹿沼市民活動広場ふらっと
 - 屋台のまち中央公園みまち食堂
 - LePerican Rouge(ルペリカンルージュ)
 - hanadokoro enn(ハナドコロエン)
 - Canalde Panama(カナルデ・パナマ)
 - レンタルボックスhaco (ハコ)



塩入 佳子 議員

教育の諸問題について伺う



質 問
中学校の生徒指導の現状と改善について伺う。また、どのような対策を講じているのか示せ。

答 弁（教育長）
指導助言をしていきます。

生徒指導上の様々な課題を抱え、その対応に苦慮している学校があることは認識しています。そのような学校では、改善に向けて学校と保護者が連携して取り組んでいます。アンケート調査（Q-U）に基づき、学級集団づくりに向けた対応策を指導主事も加わり校内研修会で検討しました。これを全学年、全クラスで実施する予定です。

今後、学びに向かう学級集団の育成に向けて実践できるように教育委員会として指導助言をしていきたくと考えています。

個別の対応は、スクールカウンセラーや教育相談専門員等と連携を図りながら実施しています。学校生活に不応をおこす生徒は、発達障がいに関係していることが多く、専門的な知識や技能を持つ、スクールカウンセラーや教育相談専門員を派遣し生徒の支援にあたっています。また、反社会的な行動を起こす生徒がいた場合には鹿沼警察署と連携をとりながら規範意識の向上に向けて対応しています。

「Q-U」とは

QUESTIONNAIRE—UTILITIES（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の略。学級集団の状況や、子ども一人一人の意欲・満足感などを測定できるとされるアンケート（質問紙）です。その分析結果から、不登校になる可能性の高い子ども、いじめを受けている可能性の高い子ども、学校生活の意欲が低下している子どもなどを発見し、早期対応につなげるこ

ができます。また、学級集団傾向のタイプ別診断から、教師はこれまでの指導を見直し、問題解決に向けて学級経営や授業を工夫したりすることができます。



芳田 利雄 議員

堆肥化センターの問題について伺う



質 問

センターへの堆肥搬入中止は畜産農家の経営への打撃、環境の悪化等、行政には責任があると思うが市の考えを伺う。

①畜産農家とどのような話し合いをしたのか

②どのように責任をとるのか

答 弁(経済部長)

今後も堆肥化センター事業を継続します。

①7月29日、30日に畜種ごとの説明会を実施し、施設の現状と今後の対応等を説明し、農家からも意見や要望をいただきました。全ての畜産農家から「センターを継続するためなら協力す

る」との回答をいただきました。

②今回は急に家畜ふん尿の受け入れを中止することになり、農家の皆さんには準備が十分でないまま対応してもらったこととなり申し訳ないと考えています。しかし予想を超えて施設の腐食が進み、危険性が増した状況の中で働く職員の命を守るため、施設の安全性を確保することが最も重要でした。今後も、堆肥化センター事業を継続させることが行政の責任であり、利用畜産農家のためでもあると考えます。畜産農家に負担をかけることになりませんが、可能な限り要望に対応していく考えです。



▲堆肥化センター

「鹿沼市堆肥化センター」の現状について

一次発酵槽西側部分が急激に腐食し、施設内作業員の安全を確保するため8月8日に西側入口を閉鎖しました。閉鎖期間中は、二次発酵槽を使用し一次発酵させた家畜ふん尿、木くず等を受け入れますが、それ以外の受け入れを中止します。来年1月までに臨時前処理場の整備を行い、整備後は水分率を下げた家畜ふん尿を搬入し、臨時前処理場と一次発酵槽出口、二次発酵槽で堆肥化を行う予定です。

佐藤 誠 議員

平和行政の更なる推進について伺う



質 問

本市の平和行政の概要を示せ。硫黄島への派遣事業、全市民への啓発を検討してはどうか。

答 弁(市長)

広島平和記念式典派遣事業を実施しています。

本市は、戦後50年にあたる平成7年に平和都市宣言をし、世界の恒久平和を達成することを決意しました。平成9年度から中学生の広島平和記念式典派遣事業を行っています。平和記念式典参列のほか、今年度も平和記念資料館等を見学してきました。事業内容は広報かぬまへの掲載、事業実施報告書作成を通

し広く市民に周知しています。

硫黄島は、小笠原諸島の南端に位置し、太平洋戦争の激戦地として知られています。原則、民間人の立ち入りが制限されており、現在硫黄島を訪れるのは遺族の方たちによる慰霊、遺骨収集を目的とした派遣団等であり、市の事業として硫黄島派遣を行うには多くの課題があると認識しています。来年は戦後70年を迎えます。我が国が70年間平和を守ってきたこと、70年前の戦争で多くの犠牲になった方々がいることを後世に語り継いでいくことの大切さを改めて感じます。



▲中学生の広島平和記念式典派遣事業

平成26年第3回 9月定例会の結果

定例会で人事や意見書の提出が決まりました。

人事

本会議で人事が決まりました。

人権擁護委員候補者の推薦

木村 孝夫（きむらたかお・板荷）

▶用語解説「人権擁護委員」

人権擁護委員法に基づいて、日本の各市町村に設置される非常勤職。法務大臣が委嘱する民間のボランティア。任期は3年で、再任も可能。給与の支給はないが、職務を行うために要する費用の弁償を受けることができる。日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していく活動をしている。

鹿沼市固定資産評価審査委員会委員

大川 芳宏（おおかわよしひろ・西茂呂）

▶用語解説「固定資産評価審査委員会委員」

固定資産評価審査委員会は、固定資産課税台帳に登録された価格に関する納税者の不服を公正、中立な立場で審査決定するため、地方税法に基づき設置された第三者機関。委員は、鹿沼市の住民、市民税の納税義務者、または固定資産の評価について学識経験を有する者の中から、議会の同意を得て市長が選任する。

鹿沼市教育委員会委員

齋藤 正（さいとうただし・上粕尾）

▶用語解説「教育委員会委員」

教育においては政治的中立性と安定性の確保が強く要求されるため、地方公共団体の長から独立した行政機関として教育委員会が設置され、教育についての方針や施策は教育委員会の合議で決定される。委員は人格が高潔で教育・学術及び文化に関し識見を有する者のうちから議会の同意を得て市長が任命する。



意見書の提出

議員案として可決し関係機関に送付しました

■議員案第9号 「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書の提出について

平成18年12月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記され、国は本年1月に障害者権利条約を批准した。

批准に先立ち国は国内法の整備を進め、平成23年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全ての障害者は、可能な限り言語（手話を含む）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

また、同法第22条では、国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務付けており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要であるとする。よって国において下記の事項を踏まえた「手話言語法（仮称）」の制定を強く求める。

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することができる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定すること。

■議員案第10号 さつきロード通行無料化を求める意見書の提出について

さつきロードは、栃木県が本市からの整備要望に応え、鹿沼・宇都宮地域間交通体系の秩序ある形成を図りつつ、地域産業の振興・発展に寄与することを目的として建設したもので、鹿沼工業団地やとちぎ流通センターと北関東自動車道宇都宮・上三川インターチェンジ周辺を最短距離で結ぶものです。

現在、さつきロードは栃木県道路公社で管理運営されていますが、午前6時から午後11時までの通行は有料となっています。しかし、宇都宮市沿線地域には、多くの民間商業施設が立地していることから生活道路として利用されており、鹿沼市側では鹿沼インターチェンジに至近距離で接続するため産業道路としても広く東北自動車道利用者への利便を供しています。

利用実態を考慮し鹿沼・宇都宮両市民ばかりでなく県民全体の福祉の向上と県央地域の商工業のさらなる活性化と産業発展に資するため、さつきロードの終日無料化を要望します。

提出議案について
議員の賛否を公表

認定11件、市長提出議案28件、議員提出議案5件が提出されました。
議員数25名、表決参加議員数24名（議長は表決には加わりません。）

全議員が賛成した議案

決算

認定4 平成25年度鹿沼市簡易水道事業費特別会計歳入～11歳出決算の認定についてなど決算の認定8件（14ページをご覧ください）

剰余金

議案57 平成25年度鹿沼市水道事業会計未処分利益剰余金処分
未処分利益剰余金233,958,653円のうち、1千万円を減債積立金に、1千万円を利益積立金に、213,958,653円を建設改良積立金に、それぞれ積み立てます。

平成26年度
補正予算

議案58 平成26年度鹿沼市一般会計補正予算
7億6,357万2千円の増、総額427億1,077万6千円

議案59 平成26年度鹿沼市国民健康保険特別会計補正予算
6億1,792万8千円の増、総額119億6,792万8千円

議案60 平成26年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計補正予算
歳入予算の更正

議案61 平成26年度鹿沼市簡易水道事業費特別会計補正予算
歳入予算の更正

議案62 平成26年度鹿沼市公設地方卸売市場事業費特別会計補正予算
188万4千円の増、総額2,108万4千円

議案63 平成26年度鹿沼市見笹霊園事業費特別会計補正予算
歳入予算の更正

議案64 平成26年度鹿沼市農業集落排水事業費特別会計補正予算
歳入予算の更正

議案65 平成26年度鹿沼市介護保険特別会計補正予算
1億1,389万9千円の増、予算総額73億3,489万9千円

議案66 平成26年度鹿沼市後期高齢者医療特別会計補正予算
69万2千円の増、総額9億3,799万2千円

議案67 平成26年度鹿沼市財産区管理会特別会計補正予算
274万9千円の増、総額1,748万9千円

議案68 平成26年度鹿沼市水道事業会計補正予算
収益的支出において、支出総額を600万円の増、資本的支出において、支出総額を3,699万4千円とする

条例の一部改正

議案74 鹿沼市職員の退職手当に関する条例
国家公務員退職手当法の一部改正に準じ、勸奨退職制度を廃止し、新たに定年前早期退職者制度を設けるためのものです。

議案75 鹿沼市税条例等
地方税法等の一部改正に伴い、法人市民税の法人税割及び軽自動車税の税率の改正並びに償却資産に対する固定資産税の課税標準の特例に係る軽減割合を定めるものです。

議案79 鹿沼市子ども発達支援センター条例
児童福祉法の一部改正に伴い、あおば園が指定相談支援事業者として、障害児相談支援事業を行うためのものです。

賛否の分かれた議案

認定1 平成25年度鹿沼市一般会計歳入歳出決算の認定（14ページをご覧ください）

認定2 平成25年度鹿沼市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定（14ページをご覧ください）

認定3 平成25年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計歳入歳出決算の認定（14ページをご覧ください）

賛

成

反対

【政和会】小林充・谷中恵子・関口正一・橋本正男

【鹿正会】算則男・赤坂日出男・塩入佳子

【公明党】荒井正行・鈴木敏雄

【明峰】津久井健吉・増淵靖弘・横尾武男・富久田耕平

【みんなの党】館野裕昭・小松英夫

【無所属市民の会】大島久幸・船生哲夫

【民主党】大貫毅・小川清正

【無所属】鰐原一男 【無所属】佐藤誠

【未来クラブ】小島実・湯澤英之

【日本共産党】芳田利雄



陳情

陳情2 総務省特別交付税措置を活用した病院運営費助成制度創設に関する支援陳情
上都賀厚生農業協同組合連合会代表理事会長、上都賀総合病院院長より提出された陳情。医師、看護師不足、消費税増税、地域医療の崩壊等により病院経営が非常に厳しい状況にあることから、新たな運営費助成制度の創設を要望するものです。

賛

成

反対

【政和会】小林充・谷中恵子・関口正一・橋本正男

【鹿正会】算則男・赤坂日出男・塩入佳子

【公明党】荒井正行・鈴木敏雄

【明峰】津久井健吉・増淵靖弘・横尾武男・富久田耕平

【みんなの党】館野裕昭・小松英夫

【無所属市民の会】大島久幸・船生哲夫

【民主党】大貫毅・小川清正

【無所属】鰐原一男

【未来クラブ】小島実・湯澤英之

【日本共産党】芳田利雄

【無所属】佐藤誠



条例の制定

議案76 鹿沼市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

子ども・子育て支援法の施行に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めるためのものです。

議案77 鹿沼市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法の一部改正に伴い、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めるためのものです。

議案78 鹿沼市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法の一部改正に伴い、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定めるためのものです。

議案80 鹿沼市景観条例の制定
(14ページをご覧ください)

物品購入・工事請負

議案69 物品購入契約の締結
(14ページをご覧ください)

議案71 工事請負契約の締結

南押原コミュニティセンター改築工事（建築工事）の事後審査型条件付き一般競争入札を去る7月23日に行い、佐野屋建設（株）が1億6,254万円で落札したので、本契約を締結するためのものです。（14ページをご覧ください）

議案72 工事請負契約の変更

平成25年12月20日第93号議案として議決された（仮称）北部地区拠点保育園新築工事（建築工事）について、賃金等の急激な高騰に対処するためインフレスライド条項を適用し、契約金額を2億4,308万6千400円とするためのものです。

議案84 工事請負契約の締結

千渡雨水第三調整池建設工事その2の事後審査型条件付き一般競争入札を去る8月22日に行い、神谷建設（株）が1億8,338万4千円で落札したので本契約を締結するためのものです。

その他

議案70 損害賠償の額の決定及び和解

（株）ニッパンレンタル所有の普通貨物自動車に衝突し、破損されたことに対し、損害賠償の額100万7,399円を支払い和解するものです。

議案73 字の廃止及び字の区域の変更

県営藤江地区土地改良（区画整理）事業施行の結果、事業実施後の土地等の現況に符号しない字の区域が生じたため、事業区域内の字を廃止するとともに、字の区域を変更するためのものです。

人事

議案81 人権擁護委員候補者の推薦

(11ページをご覧ください)

議案82 鹿沼市固定資産評価審査委員会委員の選任

(11ページをご覧ください)

議案83 鹿沼市教育委員会委員の任命

(11ページをご覧ください)

議員提出議案

議員案6 決算特別委員会の設置

平成25年度鹿沼市一般会計及び特別会計の決算を審査するため特別委員会を設置しました。

議員案7 各常任委員会への特定調査事件付託

議会は、各常任委員会（総務・環境経済・文教民生・建設水道）に対し特定事件について、閉会中の調査を付託しました。

議員案8 議会運営委員会への調査事件付託

議会は、議会運営委員会に特定事件①付託調査事項②議会閉会中の継続調査について、閉会中の調査を付託しました。

議員案9 「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書

(11ページをご覧ください)

議員案10 さつきロード通行無料化を求める意見書

(11ページをご覧ください)



請願・陳情はこんな方法で

請願・陳情とは、市政全般について議会に実情の善処を要望することです。

そのうち議員の紹介があるものは請願になります。

A4版、署名または記名押印して提出してください。

※注意事項

- ①鹿沼市の権限内の事務に限ります。
②要旨や理由は簡潔に記入してください。
③道路・水路等は地図または略図を添付してください。

請願書

紹介議員 今宮 三男
氏名 鹿沼 太郎

件名 ○○○○について
要旨 ○○○○の△△に関する
××を要望します。
理由 □□□□□□□□
□□□□□□□□
□□□□□□□□
□□□□□□□□

平成○年○月○日
鹿沼市議会議長様

請願人代表
鹿沼市○○町○○番地○
鹿沼 太郎 (印)

鹿沼市や私たちの暮らしに関係することが議会で決定しました！

～財政の効率化・健全性の確保に努めます～
鹿沼市の決算を認定しました。

■認定第1号～第11号 平成25年度鹿沼市一般会計及び各特別会計の決算の認定について

引き続き厳しい財政の実態を認識し、極力経費節減に努めながら、2年目を迎えた第6次鹿沼市総合計画「ふるさと かめま『絆』ビジョン」の着実な推進をめざし、議決された予算の目的達成を図るよう努めた結果、歳出予算における執行率は92.9%、翌年度への繰越事業を含めると97.3%であり行政需要に応え得る執行をしました。また、各特別会計とも実質収支において黒字決算となり、行政目的を達しました。



～地域の安全安心を守ります～
新しい消防ポンプ車が配備されます。

■議案第69号 物品購入契約の締結について

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入に係る指名競争入札を去る8月18日に行い、ジーエムいちはら工業（株）が5,367万6千円で落札したため、本契約を締結するためのものです。今回購入する車輜には鹿沼市消防本部で初めて圧縮空気泡消火装置が搭載されており、消火効率や消防隊員の活動性が大幅に向上することが見込まれます。



▲今回購入する車輜と同型の消防ポンプ車

～地域コミュニティの拠点整備～
南押原コミュニティセンターが改築されます。

■議案第71号 工事請負契約の締結について

南押原コミュニティセンター改築工事（建築工事）の事後審査型条件付き一般競争入札を去る7月23日に行い、佐野屋建設（株）が1億6,254万円で落札したため、本契約を締結するためのものです。建物は木造・木質化を図り、千葉県三の記念館も併設され、平成27年度の完成を目指します。



▲現在の南押原コミュニティセンター

～市民・事業者・行政の協働による景観づくり～
鹿沼市景観条例が制定されました。

■議案第80号 鹿沼市景観条例の制定について

景観に関する総合的な法律である「景観法」の制定後、鹿沼市では良好な景観づくりを進めるため平成23年7月に景観行政団体となり、広く市民の声を聞きながら、第6次鹿沼市総合計画や、鹿沼市都市計画マスタープランとの整合をはかり鹿沼市景観計画を定めました。この条例は、市民、事業者及び市が協働して本市の豊かな自然や歴史、文化等の資源を生かした良好な景観の形成を促進し、暮らしやすく魅力的なまちづくりに寄与するために制定されました。



新・委員を選任しました。

9月29日議会最終日に議会運営委員会・各常任委員会の改選を行い、記載のとおり決定しました。

議会運営委員会



委員長
富久田耕平



副委員長
谷中 恵子

委員 大貫 毅
鈴木 敏雄
小林 充
筧 則男
増淵 靖弘
小松 英夫
船生 哲夫

総務常任委員会



委員長
小林 充



副委員長
荒井 正行

委員 鰐原 一男
大貫 武男
小松 英夫
小川 清正

環境経済常任委員会



委員長
館野 裕昭



副委員長
湯澤 英之

委員 谷中 恵子
赤坂日出男
富久田耕平
芳田 利雄

文教民生常任委員会



委員長
鈴木 敏雄



副委員長
増淵 靖弘

委員 津久井健吉
小島 実
橋本 正男
塩入 佳子
船生 哲夫

建設水道常任委員会



委員長
大貫 毅



副委員長
筧 則男

委員 佐藤 誠
横尾 武男
関口 正一
大島 久幸

アンケートにご協力ありがとうございました。 議会報告会・意見交換会集計結果

7月に開催された今年度の「議会報告会・意見交換会」のアンケートの集計結果がまとまり、9月17日に開催された広報広聴委員会において内容を検討しました。また、会場で市民より出された意見「森林・農地の保全、治水など中山間地域の諸問題」、「南摩ダム建設に係る議会の対応」を政策調査・研究委員会で、「議会改革について」を議会改革調査特別委員会で協議するよう要請しました。

○参加者について

平成25年度に行った議会報告会・意見交換会の参加者は8地区で215人で、地区平均は26.9人でした。

今年度は9地区で開催し、参加者431人、1地区平均約47.9人で、前年度の約200%となっています。性別では男性370人、女性61人です。

アンケートに回答いただいた363人（回答率84.2%）では、参加者の年齢は、60代が196人（54%）と最も多く、50代以上の年齢層が328人（90%）を占めています。

アンケートの中で女性や若い方の参加が少ないとの意見も見られますので、周知方法について検討する必要があると考えられます。

○内容について

議会報告会の内容については、議会の概要については56%の方が良いと答えている一方で、約37.5%の方から内容を検討すべきとの意見が出ています。また、活動内容は約80%の方が良い、まあ良いと回答しています。

意見交換会は約51%の人から、概ね評価されていますが、約2分の1の方は検討が必要との意見です。特に今年度課題となったテーマの必要性では、必要との意見は9.9%でした。

○主な自由意見

【議会報告の内容について】

- ・議員定数の検討
- ・議員それぞれの基本政策を伺いたい
- ・具体的な成果を説明してほしい

【意見交換会について】

- ・地域ごとの重要課題
- ・テーマを事前にアンケートで決める
- ・行政への意見は受けられないとのことで、何を言っているかわからない

【全体への意見】

- ・初めて参加したが、良い経験をした
- ・議員の方々の活動を知ることができて勉強になった
- ・若い人の意見が出せるように地区別でなく全体で年齢別に開催しては
- ・説明するだけで、答えがない
- ・出席議員としての意見がないため、交換会として機能しない
- ・今後も継続してほしい



議会からの お知らせ

さつきロード終日無料化を要望

10月14日に、議長、副議長が、鹿沼商工会議所の木村剛考会頭らと、栃木県庁を訪問し、宇都宮鹿沼道路（通称さつきロード）の通行無料化を求める意見書を福田富一知事に提出しました。今後、開催される国体等のスポーツイベントでの利便性、地域産業の振興発展のために終日無料化することを要望しました。



北海道新幹線と「はやぶさ」の宇都宮駅停車を求めます

10月16日ニューサンピア栃木（鹿沼市栃窪）で栃木県市議会議長会議が開催されました。この会議で2016年3月の北海道新幹線開業に向けて、北海道新幹線の車輛、東北新幹線「はやぶさ」のJR宇都宮駅停車の実現を求める決議を採択しました。また、今回の開催市は鹿沼市でもあり、佐藤信鹿沼市長による講演も行われ、栗野第一小、秋まつりなど市のPRとともにこれからの執行部と議会の関係等について有意義なお話をいただきました。



議会カレンダー ～議会を傍聴しませんか～

11月	12月	水	木	金	土	日
11/17	18	19	20	21	22	23
				10:00 議会運営委員会		
24	25	26	27	28	29	30
				10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明		
12/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
	9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問			
15	16	17	18	19	20	21
	10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会	10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第5日) 採決		

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

本会議の動画配信をしています。

動画配信サイトYouTubeで本会議の映像を録画配信しています。鹿沼市ホームページの「市議会」バナーより入り、ご覧になりたい内容をクリックしてください。



表紙の写真は

鹿沼市が誇る、大芦溪谷の紅葉スポットです。白井平橋の大もみじ周辺は澄んだ清流と素晴らしい景観を求めて多くのカメラマンが訪れます。(写真提供:鹿沼市観光交流課)